

平成29年度議会報告会・意見交換会での町民からの意見・要望(岸地区)

地区	意見・要望	答 弁
岸	鳥獣害対策について、駆除や追い払いの検討はされているが、山から下りてくる原因や山を豊かにする対策が出てこないが、何か考えは。	山に返すことはもともとです。山に下草が生えず、食べ物がありません。今は頭数を減らすか、農家自身がガードすることしかできません。山作りは大きな問題であり、町単独では難しいため、県などに山作りの対応をしてもらいたいと考えています。現在のところ、目先の対応しかできず進んでいないのが現状です。
三保 清水 共和 岸 向原	捕獲したイノシシなどの野生動物を解体する処理車両の実験導入とあるが、いつ頃やるのか。県議会の回答は、「29年度は1台しか作らない」です。神奈川県下で1台だと、山北町はいつになるのか。5台とか10台作ってもらい、早く山北町に回していただくよう県に働きかけていただきたい。	ジビエカーは、2 t 車の中で解体し精肉できる車です。約2000万円で、国が2分の1県が4分の1助成し、残りは利活用する団体が4分の1出すということです。 国の指針として 2 時間以内に精肉にしないと流通は困難であり、課題は、運営する人、運転して解体や処理ができる人や組織ができあがっていない事です。 県は、2 市 8 町で 1 台としていますが、1 台で県西地域全体をフォローするのは難しいと考えています。 運用上まだ不確定な部分が多く、台数も含め議会としても動向を注視していきます。
岸	在宅介護支援センターは、1市5町協働連携で進めるとあるが、南足柄市と小田原市の合併の話がある中で、どのように考えているのか。	在宅医療介護連携推進事業は、国の事業であり、1市5町が連携して進めています。合併問題と本事業とのかかわりについては、まだ委員会では検討していません。
岸	在宅医療介護連携事業の、国が進める8項目の取り組みを網羅するには、町や社会福祉協議会にもお金がない。何が必要かポイントを絞って検討すべきでは。	在宅医療介護連携事業の 8 つの事業については、現在足柄上地区 1 市 5 町で積極的に協議調査をしているところです。山北町としても、8 つの事業が早い時期に実施できるように調整していますので、いただいたご意見を参考に、委員会としても進めていきたいと考えております。
岸	1 市 5 町の中では山北町だけが S N S (会員制交流サイト)を全くやっていない。交流人口を増やすには、町の魅力を発信し、知ってもらうことが大事。町は P R が下手なのではないか。	議会として、S N S 等を使った情報発信の重要性を認識し、町へも提言していかなければと考えています。
岸	高齢者が運転免許証を返納したらどこへも行けない。議会はどう考えているのか。	町は、福祉タクシーの利用券を登録者に配布していますが、他にも有効な対策はないか、調査研究をしていかなければならないと考えています。
岸	山北町に政務活動費はあるか。県外視察には税金を使って行っている。全員が所感や成果などの報告をするべきでは。また、委員会ごとに行ってもいいのではないか。	山北町議会に政務活動費はありません。委員会ごとの視察については、すでに検討しています。 視察報告書は、各議員から提出されたものを取りまとめ、広報等を通じて皆さんへ伝えています。今後は視察報告を、議員ごとに取りまとめていきたいと考えています。